

社会福祉法人幸ヒューマンネットワークの活動をご紹介します

ぬ

く

も

り



ハイライト：

- 「メルシーまつり」大盛況のうち終了しました。
- 「歌と踊りの祭典」今年度も開催します。
- 新人職員2名が「りっふる」と「みゆき作業所」を紹介します。
- 新人職員を紹介します。
- あたたかいご寄附をありがとうございました。

メルシーまつり 待ち望んだ晴天のもと開催

さわやかな春の陽気の一日、当法人のみゆき作業所が運営するリサイクルショップメルシー主催による「メルシーまつり」(4月19日)が幸区東古市場の天満天神社にて盛大に行われました。ご来場いただきましたお客様に感謝申し上げます。

会場では様々な福祉団体等が出店し、それぞれおいしいものや楽しいものを披露するなど、にぎやかな空気に包まれました。中でも毎年人気の餅つきには絶えず行列が目立ちました。当法人は山形名物の玉こんにゃくを販売し、ご好評のうち無事完売することができました。

メルシーまつりは毎年なぜか大雨など天候に悩まされてきましたが、今年は終日快晴となり、全体的に売れ行きもとてもよく、午後3時終了の予定でしたが全参加団体ほぼ完売状態ということで午後2時にお開きとさせて頂きました。

来年も今年のような快晴を期待し、より多くのお客様に来訪して頂けるような楽しいお祭りを開催したいと思いますので、また1年間しっかり準備をして来年の春メンバー・スタッフ共々お待ちしております。



目次：

「メルシーまつり」開催報告	1
「歌と踊りの祭典」開催案内	1
新人職員が行く！事業所インタビュー りっふる 編	2
新人職員が行く！事業所インタビュー みゆき作業所 編	3
平成26年度新人紹介	4
ご寄附のお礼	4
編集後記	4

「歌と踊りの祭典」11月22日開催決定

○開催概要

日時：平成26年11月22日(土)

10:00～17:00

会場：幸文化センター 大ホール

内容：歌、日本舞踊、フラダンス等の演目

※観覧は無料となっております。

当法人が主催するチャリティーイベント「歌と踊りの祭典」の開催が決定いたしました。当イベントは今年で第13回目の開催を迎えます。

当日は、多くの出場者による歌や踊りが披露されます。皆様のご来場心よりお待ちしております。



事業所インタビュー

りっふる・みゆき作業所 編

新人職員の保坂と菅原が「りっふる」と「みゆき作業所」取材をしました。それぞれの事業所をご紹介します。 ※記事内容はすべて取材当時のものです。

仲間づくりはここから！地域生活支援センター

りっふる

★施設長のご挨拶

「施設長らしくないけど、ここぞの時は施設長」をモットーに、みなさんの大切な居場所のひとつとしてこれからもあり続けられるよう、この場所でもいつも笑顔でみなさんをお待ちできたらいいなと思っています。

幸ヒューマンネットワークに入社し、これまでグループホームと、地域相談支援センターあんさんぶるでのお仕事を経験させていただきました。26年4月からはりっふるの施設長として勤務をしています。今までの経験を活かして、これからもまい進していきます。

りっふる 施設長 勝呂ちひろ

★「りっふる」ってどんなところ？

りっふるの名前の由来はご存知ですか？

答えは…波紋(Ripple)です。水面に広がる波紋のように、りっふるに来ることで人との出会いが広がり、その輪の中に自分自身が存在しているという実感が得られる場所でありたいという思いを込めています。そして、その輪がりっふるにとどまらず徐々に広がり、地域や社会へ繋がっていくことを願っています。

りっふるでは、音楽鑑賞や読書など個々人の時間を過ごしたり様々なプログラム活動に参加するなど、ふらっと立ち寄り好きなことに取り組み、安心して過ごすことができる場所です。



★プログラム内容

「月曜日は書道と水彩画を隔週で行います。最近はお菓子作りがあり、製菓工場に勤めていたメンバーが講師として来てくれています。人気のあるプログラムはカラオケやティータイムなどです。月・水・金曜日は夕食の提供もしています。」

今後増やしていきたい活動は、グルーブトークやウォーキングなどだそうです。最近では横浜美術館へ木版画展鑑賞に行くなど、外に出るプログラムも多彩にあり、とても楽しそうだと感じました。

その他、お花見やバーベキュー、クリスマス会など季節の行事や、日帰りバス旅行など多彩な楽しいプログラムを用意しています。また、新たに始めたいことなど、話し合いながら楽しく過ごせる企画を皆さんと一緒に考えています。



★PRポイント

「昼食・夕食サービスともにみなさんから大好評のカレーライス。今年の夏より『カレーの日』を始めました。7月は野菜カレー、8月はドライカレーなど、月によって違ったカレーをお楽しみいただけます。毎月みなさんにとって楽しみな1日になればいいなと思っています。」

お値段は100円という驚きの価格で提供しているそうです。お得でおいしいカレーが食べられると好評です。

★利用者の声

「りっふるに通って前向きになれた。充実している。」
「時間の縛りがなく自由に通える。その反面、自由な時間を上手に使える人でないと難しい。」
「人と関わることで自分が進化できる。」
「生活リズムが良くなり、朝早く起きられるようになった。」
「みんなが仲間。」
「職員さんがみんな優しい。」
「職員や他の利用者など、話し相手が増えて楽しい。」

★基礎情報

- ・現在の契約者数：74名(男：女/43:31)
- ・一日の平均利用者数：16名前後
- ・混雑時の時間帯：プログラムによる



- 🕒 月・水・金10:00～20:00/火・木・土10:00～17:00
- 🏠 日・祝日・年末年始
- 📍 〒212-0004 川崎市幸区小向西町3-50-3
- ☎ 044(555)6594
- 🚶 JR川崎駅西口北・JR武蔵小杉駅、東急東横線武蔵小杉駅より川崎市営バス 川71系統[小向西町]下車 徒歩8分



「働きたい」を応援！地域活動支援センター

みゆき作業所

★施設長のご挨拶

「ふれあい」をあいことばに、「ふれあいバザール」や「メルシーまつり」を地域のみなさまとの協働のもとで開催しつつ、30年もの年月が経過しました。ご支援ご協力をたまわりました地域のみなさまに心から感謝申し上げます。



これからも、地域のみなさまのご支援を仰ぎつつ、メンバーさんの目線にたって作業所運営をつづけるため、職員一同自己研さんに励んでまいります。弁天通りにお立ち寄りの際は、「作業所」や「メルシーショップ」をおたずねください。おまちしています。

みゆき作業所 施設長 田邊 光一

★作業内容

①外作業(アルミ缶作業)

「地域の人に協力してもらい、メンバー、職員とアルミ缶を回収します。そして回収したアルミ缶を仕分け・潰し、袋詰めにして、それを軽トラックに積み込み、工場へ売却しに行く仕事です。」

外作業は主に男性のメンバーさんが働いているようで、私が取材に行った時も、汗を垂らしながら頑張っていました。



②室内作業

「和紙小物、花たわしなどの自主製品の作成と、注文、バザーイベントがあれば手作りのパウンドケーキも作っています。自主製品は、リサイクルショップ・メルシーで販売し、バザーイベント等にも出品しています。」

室内作業は女性のメンバーさんが多い様で、自分のペースでゆつくりと作業をしている様子でした。

自主製品 人気ランキング



花たわし
200～300円

根つけちりめん
350円

つまようじ入れ
100円



お茶菓子・クリスマス・お歳暮などにピッタリ！
ドライフルーツ・チョコレート・抹茶と大人気のパウンドケーキ三種類(1カット100円・1本900円)他、自主製品等ご注文承っております。
ご注文はこちらまで⇒ TEL044(511)5001
担当:渡辺・高橋

③受注作業

「平成26年4月から新しく始めた電池ケースを組み立てる仕事です。電池を押さえるバネと金具をケースに打ち込む作業を、三段階の工程に分けて行います。」

この仕事を専属でしたいという方がいる程、今人気の作業です。

★PRポイント

地域の方と協力して集めるアルミ缶の回収や、平成17年に設立したリサイクルショップ・メルシー主催の「メルシーまつり」では、メンバーさんがお餅をついたり、お好み焼きや焼きそば、リサイクルショップで販売している衣類、自主製品を販売しています。地域の方の協力や他団体の支援を受け、毎年盛況に開催しています。

★歴史

みゆき作業所は、昭和50年12月に精神障害者の地域作業所として設立しました。開設当初は中小企業の下請け作業や内職を主にしてきました。

次第に軽作業の機械化が進み、昭和63年からグリーティングカードや和紙を使った箸置き、ポケットティッシュケース等の小物作りへ作業の主体が変わっていきました。その後、アルミ缶回収リサイクル作業にも取り組みました。

平成19年4月からは自立支援法の施行に伴い、作業所も地域活動支援センターに移行し、地域の方々、他団体のご協力、ご支援により現在のみゆき作業所の姿となっています。

★利用者の声

「接客は相手を好きにならないと出来ない仕事だと思う。不安もあるけど、やっぱり接客は楽しいよ。」

「夏は暑いし、冬は寒くて大変だけど、体のトレーニングになる。」

「色々な作業があるから、自分に合った仕事を選ぶのがいい。」

「仕事が楽しい！時には喋りも必要！」

「疲れるけど、やりがいがある仕事。」



★基礎情報

- ・現在の契約者数:27名(男:女/18:9)
- ・一日の平均利用者数:12名前後
- ・混雑時の時間帯:午前が圧倒的に多い

🕒 月～金9:00～17:00 ※イベント等により土日開所あり

🏠 休 土・日・祝日・夏季休業・年末年始

📍 〒212-0052 川崎市幸区古市場1808-1

☎ 044(511)5001

🚶 JR川崎駅西口北・JR武蔵小杉駅、東急東横線武蔵小杉駅より

川崎市営バス 川71系統[小向西町]下車 徒歩8分

東急バス 川31・32・33系統[武道館前]下車 徒歩3分



～インフォメーション～

平成26年度 新人紹介

4月1日、2名のフレッシュマンが入社いたしました。
ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

お名前はなんですか？

ほさか たくみ
保坂 匠 です。

すがわら やすえ
菅原 康恵 です。

配属先はどちらですか？

「ヒューネット幸(グループホーム)」です。

「地域生活支援センター りっぷる」です。

学生時代と違うことは？

責任の重さだと思います。
人の援助をすること、とくにグループホームの職員は、
その人の生活全般を支えていく仕事だと思います。

たくさんありますが、一番は責任感です。自分の名刺を頂いたとき、この職場の一員になったという実感がひしひしと湧いてきました。組織の一員である以上、責任のある行動を心がけたいです。

福祉の仕事を選んだきっかけは？

大学で福祉を4年間学び、その知識を生かしたいのと、
人とふれあい、お互いの価値観を尊重しあえる仕事だと思ったからです。

小学校から通っていた塾の先生が臨床心理士と精神保健福祉士の資格を持つ方で、当時その先生に何度もお世話になり助けられました。その頃から、私もいつか先生のようになりたいと思ったのが一番の理由です。

10年後はどうなっていたい？

入居者の方に頼られ、認められる存在になりたいです。
そのためにもまずはお互いのことを良く知り信頼関係を築いていきたいと思っています。

想像できません。みなさんの役に立つ、使える人材になりたいです。笑

至福の瞬間は？

学生時代の友人と会って遊ぶことです。最近はお互いの仕事の都合などあるので会えるとても嬉しいです。

休みの前日の夜と、UVERworldのライブに行くことです。

人生最大のピンチは？

グループホーム職員になって、料理をつくることです。
今まで、自炊をしてこなかったのが、最初は大変でした。

出勤中、急激にお腹が痛くなり、冷や汗ダラダラでもう無理じゃないかと何度も思いながらも何とかバスを降り、一目散にりっぷるへ。バス停から近くて本当に良かったと感謝。しかしりっぷるへ着くと、いつもは開いていることが多いシャッターがその日に限り閉ざされ、その光景を目の当たりにした瞬間が、今までで人生最大のピンチでした。

ご寄附のお礼

東京電力労働組合西火力総支部様
みゆき会様 長峯章浩様 田邊光一様

ご寄附をいただきありがとうございました。
心より感謝申し上げます。

○編集後記

約10年ぶりに広報担当になり、ワープロ&切り貼りで原稿を作成していた昔を懐かしく思い出しました。今年度は5人の担当でわかりやすい紙面を心がけながら法人の活動をお伝えしてまいります。ぜひご感想等お寄せください。 吉澤